

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日 定時株主総会・期末配当 中間配当	毎年3月31日 毎年9月30日
公告方法	当社ホームページ <a href="https://www.nkkswitches.co.jp/">https://www.nkkswitches.co.jp/</a> において、電子公告いたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に公告いたします。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

- ・住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について  
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払いについて  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

## NKKスイッチズ株式会社

### ■お問い合わせ

〒213-8553 神奈川県川崎市高津区宇奈根715-1  
総務課：TEL.044 (813) 8025 FAX.044 (833) 5270

## 第69期報告書

2021年4月1日 ▶ 2022年3月31日

NKKスイッチズ株式会社



すべてのお客様の製品の品質向上に役立つべく、NKKは絶えず革新し続けます

## New Products



### KP04シリーズ 照光式押ボタンスイッチ

「KP04シリーズ」は、NKKスイッチズでは初めてとなる面実装タイプの照光式押ボタンスイッチです。既存商品である「KP01/KP02シリーズ」の軽快な操作感そのままに、小形化・高密度化・省力化に対応するために面実装化を実現しました。また、独自構造により、スイッチを押した時のクリック感と接点接触のタイミングを同期(特許登録済)させたことで、直感的な操作が可能となりました。

## New Products



### TB01シリーズ ベゼル JIS安全色・カラーユニバーサルデザイン対応

「TB01シリーズ」は、ユニバーサルデザインを採用した、防水・防塵性に優れた照光式押ボタンスイッチです。今回、主な用途や使用環境を考慮し、JIS Z 9103安全色、及び誰もがわかりやすく多様な色覚に配慮したデザインのための「カラーユニバーサルデザイン(CUD)」に対応したカラーラインナップとしました。

急激な需要拡大に伴い、  
記録的な増収増益となりました。  
「信頼」と「納期」を重点テーマに、  
「信頼し、信頼される良い会社」を  
実現してまいります。

この1年間の外部環境と、  
当期業績の概況をお聞かせください。

2022年3月期における世界経済は、各国でコロナ禍に伴う行動制限が解除され、景気回復基調を維持しているものの、半導体供給不足、部材の調達難が長期化しており、依然として不透明な状況が続いています。日本経済におきましては、新型コロナウイルス感染症の感染状況により経済活動の制限と緩和が繰り返される中、輸出や製造業全般において設備投資需要が増加するなど、持ち直しの動きが続いています。当社グループが属するNECA（一般社団法人日本電気制御機器工業会）の統計データによれば、2021年度における制御機器市場全体の出荷総額は前年同期比118.7%と4年ぶりにプラスとなりました。

こうした環境の中、当社グループは新たな10年後のあるべき姿として「私たちが笑顔となり、お客様の困りごとを顧客目線で解決する真のパートナーとなります。」を新グループビジョンに制定しました。また、2022年3月期をその実現に向けた土台作りの年と位置づけ、「利益の創出（収益力強化）」、「ソリューションビジネスの確立」、「生産構造改革」

代表取締役社長

大橋智成



「ビジョン実現のための土台作り」を基本戦略として積極的に展開いたしました。

売上面では、2020年8月をボトムに需要が急激に回復し、1年を通じて受注が先行する状況が続きました。部材の調達難が長期化する中で納期対応では全社的な応援体制で増産を実現し、リーマン・ショック以前の実績に追いつくことができました。しかし中国市場は一部地域のロックダウン等に伴い景気の減速感が強まり、大きな伸びにつながりませんでした。その他の市場についてはソリューションビジネスが徐々に浸透し、花が開きつつあります。日本市場ではお客様の困りごとにより寄り添って開発した「ユニバーサル照光式押ボタンスイッチ」が好評で、各鉄道会社様にご採用いただいた当該スイッチが実際に新車両に搭載され走り出しました。

欧州市場では厳しい環境下で使用される特殊車輪向けスイッチについて、お客様の困りごとに対応すべく開発した、防水性、防塵性を高めた「Mトグル ダブルプロテクション」が、北米市場では舞台装置メーカーで直感的にスイッチによる切り替えが出来ない困りごとに対して、当社「フルスクリーンIS」がスイッチ上に動画表示もできることが評価され、販売を伸ばしました。利益面では、増収効果に加えてタッチパ

ネル製造の株式会社ディ・エム・シーいわきへの譲渡等によるスリム化により収益力の強化を図りました。

これらの結果、当社グループの2022年3月期における売上高は8,938百万円（前年同期は6,830百万円）、営業利益は800百万円（同11百万円）、経常利益は878百万円（同69百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益は581百万円（同62百万円）となり、大幅な増収増益となりました。

### 「ユニバーサルデザイン照光式押ボタンスイッチ」は鉄道会社にどんな点が評価されているのですか。

「ユニバーサルデザイン照光式押ボタンスイッチ」は、車内の温度を快適に保つため、列車のドアを利用者自身が開け閉めするためのスイッチです。今回「ユニバーサルデザイン照光式押ボタンスイッチ」の受注が増加傾向にあります。お客様にアプローチしたのは今から3～4年前になります。お客様によれば列車の利用者には半自動ドアスイッチを乱暴

に扱う方もいて、故障が多く発生していたようです。そこから耐久性や視認性の強化はもとより、どんな点に配慮すべきかをお客様と対話をしながらスイッチを開発していきました。

できあがった試作品は、環境的に厳しい地域で2年間現車試験された結果、当社の製品は故障モードが一切出ないと高く評価され、新型車両置き換えのタイミングや、既存車両での一斉交換などで導入が続いております。これは、お客様の困りごとを解決する当社グループのソリューションビジネスの典型といえます。今後、当社グループの成長を支えるビジネスになると期待しております。

### 新グループビジョンを実現するための土台作りの進捗はいかがですか。

2021年度は単年度計画とし、「利益の創出(収益力強化)」、「ソリューションビジネスの確立」、「生産構造改革」、「新グループビジョン実現のための土台作り」を基本戦略として積

極的に展開しました。

「新グループビジョン実現のための土台作り」の中では特に人に焦点を当て、対話することによりお互いがお互いを理解し合い、当社グループが一枚岩になることを重視してまいりました。なぜなら企業の原点は人だと考えているからです。経営と社員との対話を重ねる中で、理念やビジョン、経営陣の考えをしっかりと浸透させるとともに、幅広い階層の意見を採り上げるように努めました。新たにスタートした中期経営計画も、社員と対話を重ねて一緒になって作り上げました。こうした会社の変化を前向きにとらえる社員が多く、対話促進に一定の手応えを感じています。この取り組みを継続することで、新たな成長のための強固な土台を構築していきたいと考えております。

### 新中期経営計画について解説をお願いします。

当社グループは、2022年度より「信頼し、信頼される良い会社」をタイトルとする3カ年の新中期経営計画をスタートさせました。2030年のありたい姿として誕生させた新グループビジョン「私たちが笑顔となり、お客様の困りごとを顧客目線で解決する真のパートナーとなります。」を実現するため、持続的な成長に向け積極的な投資を実施していく予定です。新中期経営計画ではテーマを二つ掲げています。一つは「信頼」です。企業の原点は人であり、経営は人に焦点を当てる中で「信頼し、信頼される経営」を実践し、意識することなく信頼・尊重・感謝ができる活力ある職場を強化することで、当社グループが一枚岩となりさらに成長していくことを目指すものです。もう一つは「納期」です。主要シリーズまたは特定製品の納期でお客様に信頼される企業を目指します。そのために主要な機構部品技術を内製化、部品・組立

協力会社との連携を強化、恒久的な部品調達安定化に資源を集中してまいります。

### 2023年3月期についてはどのような展望をお持ちですか。

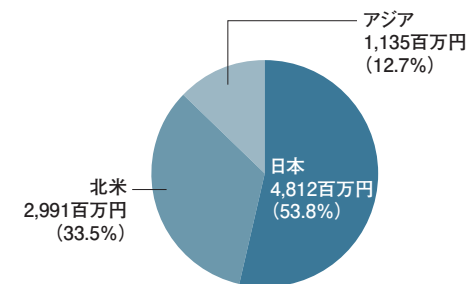
現時点では前期の勢いを受けて多くの受注をいただいておりますが、様々な要因が重なり依然として不透明な状況が続いております。原材料費の高騰も利益を圧迫する要因となり、また部材不足の状態がいつ解消されるのか、目処が立っておりません。中国・上海の子会社はゼロコロナ政策の堅持により一部地域のロックダウンが続いていることから、過去最高レベルの受注がありながら業務が停滞せざるを得ない状況です。さらに緊迫したロシア・ウクライナ情勢が続いており、今後の展開やどのような影響があるかは想像することができません。このため、2023年3月期は、経営環境は予断を許さない厳しい状況が続くものと認識しております。その中で当社グループとしては投資を必ず実行し、納期についてお客様のご期待に応えられるように全力を挙げてまいります。

### 最後に、株主様へのメッセージをお願いします。

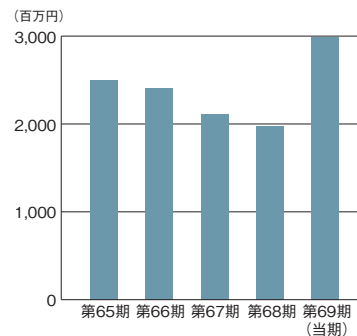
当社グループは、新グループビジョン「私たちが笑顔となり、お客様の困りごとを顧客目線で解決する真のパートナーとなります。」を実現するため、「信頼」と「納期」を重点テーマに高い技術力、高い品質力をもってお客様の困りごとを解決し、新たな価値を提供するため、グループの総力を結集して戦略を重点的に実行してまいります。株主の皆様におかれましては何卒ご理解いただき、これからも変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

## ■ 地域別売上高の推移

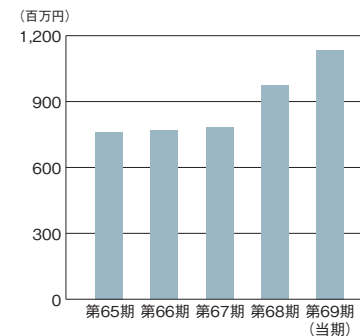
● 地域別売上高構成



● 地域別売上高の推移(北米)



● 地域別売上高の推移(アジア)





NSA過去最高売上達成

米国販売子会社であるNSAでは、コロナ禍にも関わらず同社の創業（1981年）以来、最大となる売上額となりました。好調要因としては、NKKの品質・性能・特徴を市場隅々までプロモーション活動を行うとともに、New Normalの北米特有の市場文化に合わせた、バーチャルブースをはじめとする、オンラインマーケティング活動と、顧客の満足度を高める質の高い対応をご評価いただきました。

特にソリューション販売に注力する中で、ETC社の舞台コントロール装置にフルスクリーンカラーISが採用されコト売りが浸透したことも、販売増に寄与しました。



ETC社舞台コントロール装置



当社製品IS搭載状態

TB01 JR東日本最新鋭車両に採用

NKKが開発した、「TB01シリーズ」が、東日本旅客鉄道株式会社（JR東日本）の通勤・近郊型車両乗降扉用の半自動ドアスイッチとして、ご採用いただきました。お客様の困りゴトを解決するNKKのソリューションおよび、品質ならびに「TB01シリーズ」のメインコンセプトであるユニバーサルデザインをご評価いただきました。

「TB01シリーズ」は、鉄道車両のデザイントレンドのユニバーサルデザインを突き詰め、全ての人を使いやすく優しい製品として展開しており、他の鉄道事業者様での採用も拡大基調となっております。



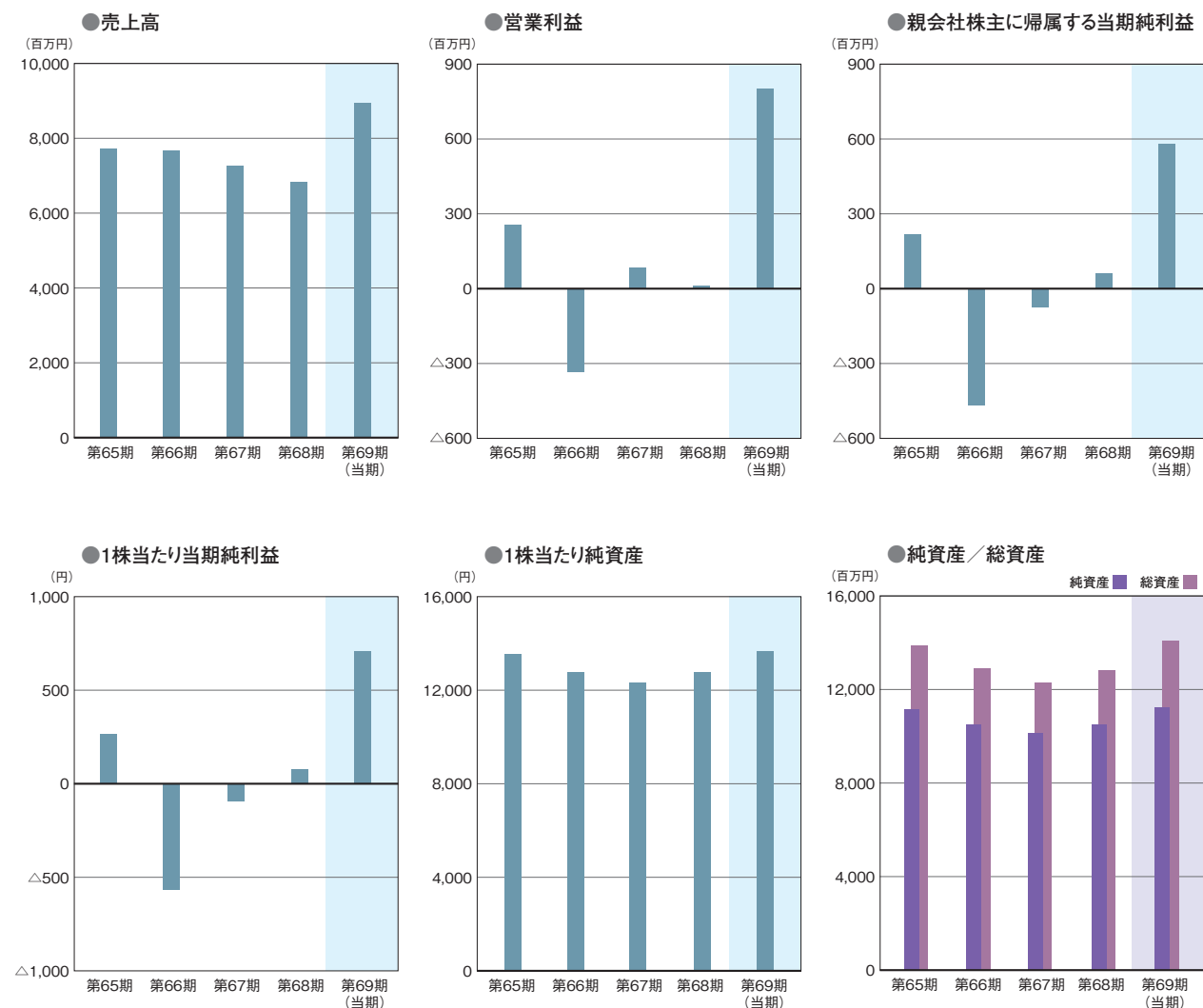
採用されたJR東日本E131系



搭載状態のTB01

協力：東日本旅客鉄道株式会社

NKKグループビジョン「私たちが笑顔となり、お客様の困りごとを顧客目線で解決する真のパートナーとなります。」を実現すべく今後も邁進してまいります



## ■ 連結貸借対照表

(単位:千円)

科目	当期 (2022年3月31日)	前期 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>10,540,390</b>	<b>9,072,765</b>
現金及び預金	5,416,009	5,393,823
受取手形及び売掛金	—	1,158,719
受取手形	572,944	—
売掛金	1,118,503	—
商品及び製品	1,058,879	894,807
仕掛品	74,753	51,839
原材料及び貯蔵品	1,933,738	1,320,433
前払費用	48,993	64,473
その他	320,315	191,427
貸倒引当金	△ 3,747	△ 2,759
<b>固定資産</b>	<b>3,533,671</b>	<b>3,743,063</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>2,047,062</b>	<b>2,151,951</b>
建物及び構築物	1,150,621	1,286,113
機械装置及び運搬具	153,626	203,472
工具、器具及び備品	142,158	96,087
土地	354,627	379,631
リース資産	147,237	159,247
建設仮勘定	98,791	27,399
<b>無形固定資産</b>	<b>57,217</b>	<b>91,697</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>1,429,391</b>	<b>1,499,414</b>
投資有価証券	1,009,060	1,106,357
繰延税金資産	42,145	31,285
長期預金	200,000	200,000
その他	178,185	161,771
<b>資産合計</b>	<b>14,074,061</b>	<b>12,815,828</b>

(単位:千円)

科目	当期 (2022年3月31日)	前期 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>2,367,448</b>	<b>1,725,727</b>
買掛金	1,504,880	1,182,650
未払法人税等	36,838	19,701
賞与引当金	98,936	102,718
役員賞与引当金	24,000	16,000
未払金	325,665	159,953
未払消費税等	9,530	2,985
未払費用	193,208	150,733
リース債務	41,425	32,830
その他	132,963	58,153
<b>固定負債</b>	<b>483,354</b>	<b>596,877</b>
繰延税金負債	106,183	132,236
退職給付に係る負債	81,030	89,528
役員退職慰労引当金	181,020	195,140
リース債務	114,615	134,466
その他	505	45,505
<b>負債合計</b>	<b>2,850,802</b>	<b>2,322,604</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>10,421,775</b>	<b>9,993,724</b>
資本金	951,799	951,799
資本剰余金	833,305	833,305
利益剰余金	8,798,625	8,370,460
自己株式	△ 161,955	△ 161,839
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>800,889</b>	<b>498,847</b>
その他有価証券評価差額金	373,146	422,304
為替換算調整勘定	427,743	76,542
<b>非支配株主持分</b>	<b>594</b>	<b>652</b>
<b>純資産合計</b>	<b>11,223,259</b>	<b>10,493,224</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>14,074,061</b>	<b>12,815,828</b>

## ■ 連結損益計算書

(単位:千円)

科目	当期 2021年4月1日から 2022年3月31日まで	前期 2020年4月1日から 2021年3月31日まで
売上高	8,938,881	6,830,302
売上原価	5,152,389	4,099,592
売上総利益	3,786,492	2,730,710
販売費及び一般管理費	2,986,387	2,719,497
営業利益	800,104	11,212
営業外収益	98,913	85,648
営業外費用	20,612	27,206
経常利益	878,406	69,655
特別損失	207,902	1,560
税金等調整前当期純利益	670,503	68,095
法人税、住民税及び事業税	94,012	30,771
法人税等調整額	△ 4,566	△ 25,014
当期純利益	581,056	62,338
非支配株主に帰属する当期純利益又は 非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△ 58	129
親会社株主に帰属する当期純利益	581,115	62,209

## ■ 連結株主資本等変動計算書

(2021年4月1日から2022年3月31日まで)

(単位:千円)

科目	株主資本				その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産計	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定			その他の包括利益累計額合計
当期首残高	951,799	833,305	8,370,460	△ 161,839	9,993,724	422,304	76,542	498,847	652	10,493,224
会計方針の変更による 累積的影響額			△ 54,195		△ 54,195					△ 54,195
会計方針の変更を反映した 当期首残高	951,799	833,305	8,316,264	△ 161,839	9,939,528	422,304	76,542	498,847	652	10,439,028
当期変動額										
剰余金の配当			△ 98,753		△ 98,753					△ 98,753
親会社株主に帰属する 当期純利益			581,115		581,115					581,115
自己株式の取得				△ 115	△ 115					△ 115
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						△ 49,158	351,201	302,042	△ 58	301,984
当期変動額合計	—	—	482,361	△ 115	482,246	△ 49,158	351,201	302,042	△ 58	784,230
当期末残高	951,799	833,305	8,798,625	△ 161,955	10,421,775	373,146	427,743	800,889	594	11,223,259

## ■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科目	当期 2021年4月1日から 2022年3月31日まで	前期 2020年4月1日から 2021年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	190,180	584,251
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 192,209	△ 188,502
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 137,146	△ 110,282
現金及び現金同等物に 係る換算差額	161,361	48,656
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	22,185	334,123
現金及び現金同等物の期首残高	5,393,823	5,084,403
連結子会社の決算期変更による現金 及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	△ 24,702
現金及び現金同等物の期末残高	5,416,009	5,393,823

## ■ 貸借対照表

(単位:千円)

科目	当期 (2022年3月31日)	前期 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産	8,579,779	6,896,006
固定資産	4,162,200	4,475,299
資産合計	12,741,980	11,371,305
負債の部		
流動負債	3,555,293	2,085,705
固定負債	463,425	634,852
負債合計	4,018,719	2,720,558
純資産の部		
株主資本	8,350,114	8,228,442
資本金	951,799	951,799
資本剰余金	833,305	833,305
利益剰余金	6,726,965	6,605,177
自己株式	△ 161,955	△ 161,839
評価・換算差額等	373,146	422,304
純資産合計	8,723,261	8,650,747
負債純資産合計	12,741,980	11,371,305

## ■ 株主資本等変動計算書

(2021年4月1日から2022年3月31日まで)

(単位:千円)

	株主資本								自己株式	株主資本 合計	評価・換算差額等		純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				評価・換算 差額等			純資産 合計		
		資本 準備金	資本剰余 金計	利益 準備金	固定資産圧縮 記帳積立金	繰越利益 剰余金	利益剰余 金計						
当期首残高	951,799	833,305	833,305	181,917	19,202	5,600,000	804,057	6,605,177	△ 161,839	8,228,442	422,304	422,304	8,650,747
会計方針の変更による 累積的影響額							△ 133,597	△ 133,597		△ 133,597			△ 133,597
会計方針の変更を反映した 当期首残高	951,799	833,305	833,305	181,917	19,202	5,600,000	670,459	6,471,579	△ 161,839	8,094,844	422,304	422,304	8,517,149
当期変動額													
剰余金の配当							△ 98,753	△ 98,753		△ 98,753			△ 98,753
固定資産圧縮記帳積立金の取崩					△ 864		864						
当期純利益							354,139	354,139		354,139			354,139
自己株式の取得									△ 115	△ 115			△ 115
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)											△ 49,158	△ 49,158	△ 49,158
当期変動額合計					△ 864		256,249	255,385	△ 115	255,270	△ 49,158	△ 49,158	206,111
当期末残高	951,799	833,305	833,305	181,917	18,338	5,600,000	926,709	6,726,965	△ 161,955	8,350,114	373,146	373,146	8,723,261

## ■ 損益計算書

(単位:千円)

科目	当期 2021年4月1日から 2022年3月31日まで	前期 2020年4月1日から 2021年3月31日まで
売上高	7,664,209	5,988,783
売上原価	5,236,878	3,961,674
売上総利益	2,427,331	2,027,109
販売費及び一般管理費	2,095,301	2,014,645
営業利益	332,029	12,464
営業外収益	267,794	184,962
営業外費用	18,872	28,959
経常利益	580,951	168,467
特別損失	192,718	1,560
税引前当期純利益	388,233	166,906
法人税、住民税及び事業税	17,216	7,615
法人税等調整額	16,878	△ 15,334
当期純利益	354,139	174,626

## ■ 会社概要

商号	NKKスイッチズ株式会社 (NKK SWITCHES CO., LTD.)
創業	1951年4月1日
設立	1953年12月11日
資本金	951,799千円
従業員数	連結280名 単体167名
本社事務所	〒213-8553 神奈川県川崎市高津区宇奈根715-1
事業所	名古屋営業所 大阪営業所 福岡営業所
主な事業内容	産業用各種スイッチの製造・販売
連結子会社	NKKスイッチズ パイオニクス株式会社 NKK Switches of America, Inc. NKK Switches Hong Kong Co., Ltd. 恩楷楷(上海)开关有限公司 NKK Switches Mactan, Inc. 恩楷楷开关(东莞)有限公司
ホームページ	<a href="https://www.nkkswitches.co.jp/">https://www.nkkswitches.co.jp/</a>
上場取引所	東京証券取引所

## ■ 取締役および監査役

代表取締役社長	大橋 智成
取締役	大橋 宏成
取締役	本多 正憲
取締役	芦澤 直太郎 (社外)
常勤監査役	青木 明裕
監査役	大島 勝彰 (社外)
監査役	京谷 典昭 (社外)

## ■ 株式の状況

発行可能株式総数	2,600,000株
発行済株式の総数	842,520株
株主数	622名

## ■ 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
有限会社ビッグブリッジ	132	16.04
株式会社三井住友銀行	40	4.97
大橋 宏成	29	3.56
大橋 尚子	28	3.41
株式会社三菱UFJ銀行	26	3.17
太陽生命保険株式会社	22	2.74
大橋 千津子	20	2.44
大橋 智成	19	2.34
斉藤 清	18	2.29
富岡 友子	18	2.27

(注) 1. 当社は、自己株式を19千株保有しております。  
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## ■ 所有者別持株比率

